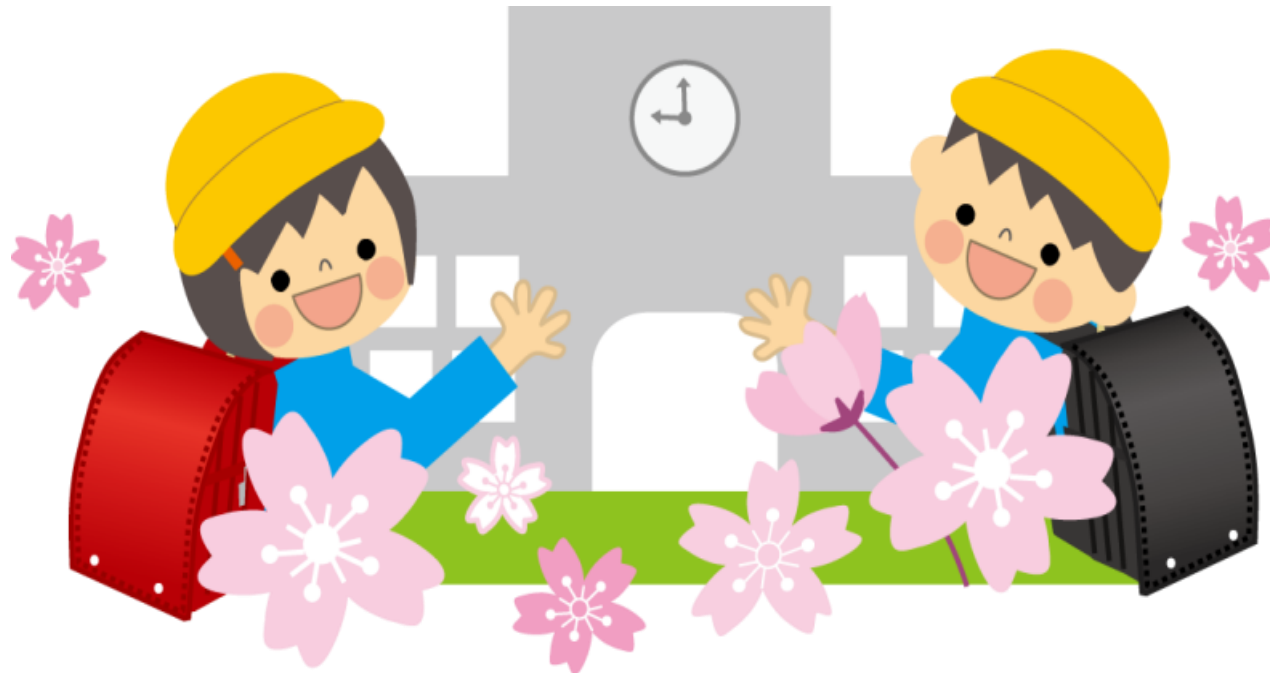


令和6年度

スタートカリキュラム



千歳市立北進小中学校

スタートカリキュラムとは…

小学校に入学した児童が、幼稚園・保育園・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

なぜ、スタートカリキュラム？

幼児期の「学びの芽生え」と児童期の「自覚的な学び」をつなぐのがスタートカリキュラムです。北進小学校の子どもは幼児期の学びの芽生えがゆっくりで、個人差が大きく、断片的であることが特徴としてあります。そのため学びのスタートは個の実態に応じ、9年間の連続性の中で培っていきます。

やってみると、こんないいことが…

【他学年の児童にとって】

- 1年生のよさが分かり、一人一人を大切にできる気持ちが育ちます。
- 上級生としての自覚と責任感が生まれます。

【担任にとって】

- 児童の指導・支援の方向性を確認できる。
- 特別な教育的支援が必要な児童に効果的な学習を行うための手掛かりを得ることができる。

【保護者にとって】

- お子様の学びの見通しがもて、安心して学校に送り出せます。
- 児童が自ら成長する姿を通して家庭で取り組むとよいことがわかります。

【学校にとって】

- スムーズに小学校生活に適応し、意欲と笑顔にあふれる学校となる。
- 9年間を見通した義務教育全体の改善につながる。

幼児期 学びの芽生え

【幼児期の中に芽生える学び】

1. 健康な心と体
2. 自立心
3. 協同性
4. 道徳性・規範意識の芽生え
5. 社会生活との関わり
6. 思考力の芽生え
7. 自然との関わり・生命尊重
8. 数量・図形、文字等への関心・感覚
9. 言葉による伝え合い
10. 豊かな感性と表現

安心

安心して、小学校のスタートが切れるようになっていきます。

成長

自信や意欲をもって活動できるように自己肯定感を育みます。

自立

幼児期に経験した「学びの自立」「生活上の自立」「精神の自立」をもとに個の実態に応じて児童の主体性を育てます。

スタートカリキュラム

児童期 自覚的な学び

【児童期の中に成長する学び】

1. 学ぶことへの意識の高まり
2. 時間の区別
3. 課題解決に向けた計画的な学び
4. 自立活動・生活単元学習・各教科などの学習
5. 経験・体験をもとにした確かな生活力
6. コミュニケーション能力向上と他者との関わり
7. 系統的に学ぶために工夫された学習環境

友達できるかな？

学校ってどんなことをするのかな？

知らない場所が不安だな。

今までいろいろなことをしてきたよ。

スタートカリキュラム

やってみよう！

小学校も楽しいよ！

私たちにもできたよ！

だれかに伝えたいな！

1. スタートカリキュラムの全体構造図

I 北進小中学校の教育目標とめざす子ども像

1. 学校教育目標
『21世紀を、自分のよさを発揮し、
広く豊かに生きる子どもの育成』

たしかに学ぶ子 (知)
かかわりをもてる子 (情)
たくましく生きる子 (意・体)

学校見学・体験(随時)・幼児教室(2月)

【就学相談 随時】

・学校見学・学校体験(随時) 学校説明会

【幼児教室 2月】

・授業体験、自由遊び等、保護者説明会

教育と福祉の連携

- 千歳市子ども部会との連携
・トライアングルプロジェクトの推進
- 千歳市障がい者総合支援センターChip
・就学前児童の情報交流
・園や家での学びや生活の様子

幼稚園・認定子ども園、児童発達支援センター等との情報共有

- 子どもたちの活動を参観
- 幼稚園の先生等と情報交流
・教育方針
・アプローチカリキュラム等
- 子どもの実態把握
・イエローファイル引き継ぎ・支援体制

生活体験を核とした学び

学びの芽生えから自覚的な学びへ

- 他教科との合科的・関連的指導
- 単元構成・指導計画の工夫
・指導の時期や指導方法の工夫
- 体験学習を中心とした学びの場
- 人との関わりを重視した活動
- 思考を促す学習活動

合同学習

- 合同音楽
・幼児期の歌や遊びを取り入れた学習活動・リトミック
- 合同体育、合同自立活動
・遊びを取り入れた活動
- 小中一貫教育
・9年間の教育に向けた小中合同学習(行事・外国語等)
- 各教科等の授業
・学習内容に応じたグループ学習等

情報交流

【就学前後の観察等】

○見学、面談、学習の様子

【個別の教育支援計画】

○イエローファイルの引き継ぎ
○長期目標、短期目標の設定等

【個別の指導計画作成】

○個別懇談(保護者)
・年間の長期目標
・前期、後期の目標と手立て

スタートカリキュラム ~安心・成長・自立~

安心

- 幼稚園等の活動との連続性・発展性を考慮した学習の導入
- わかりやすく、学びやすい授業づくりと支援体制
- 安心や楽しさが生まれる環境づくり

成長

- 活動や体験を通して学びに向かう力を育む
- 自分のもっている力を発揮できるように挑戦の場を設定
- 自信や意欲が生まれる支持風土と適切な評価

自立

- 自分で判断し行動できるように、自立に向かう活動場面を設定
- 9年間の学習で培った学びの基礎の定着を図る教育課程
- 夢や希望をもち、前向きに生活できるようにすることを意図した、キャリア教育の推進

2. スタートカリキュラム 9年間指導目標

ねらい 本校において確かな生活力を育むために、小学校就学前（幼稚園・認定子ども園、児童発達支援センター等）と小学校、さらに中学校が、「子どもの発達は連続している」という共通認識をもち、互いの違いと良さを確認し合い、意図的・計画的な指導が行われるように学童期のカリキュラムを作成しました。また、9年間を見通して子ども達の実態を把握し、「めざす子ども像」へと導く指導の指針として、「話す・聞く・書く力（たしかに学ぶ子）」「コミュニケーション能力（かかわりをもてる子）」「生活する力（たくましく生きる子）」「運動機能（たくましく生きる子）」の4点を設定しました（スタートは個々の実態によって異なります）。

| 3つの重点 | 小学校 | | | 中学校 | | | |
|------------------------|------------------------|--|---|--|---|---|---|
| | ステージⅠ | ステージⅡ | ステージⅢ | ステージⅣ | ステージⅤ | ステージⅥ | |
| 幼稚園・認定子ども園、児童発達支援センター等 | 話す・聞く・書く力 （言語能力の育成） | <ul style="list-style-type: none"> 目と手の協応 弁別・分類 マッチング 名詞の指示で物を取る 絵本を楽しむ 音声模倣 | <ul style="list-style-type: none"> 書くことの基礎 名詞の理解 名詞の複数指示 絵本紙芝居を楽しむ 自分の名前や身近な人の名前の理解 | <ul style="list-style-type: none"> 動作語 語彙数を増やす 文字（ひらがな）理解 文字学習の基礎 | <ul style="list-style-type: none"> 文字の読み書き 単語の読み書き 単文の読み書き かたかな 文字の読み書き | <ul style="list-style-type: none"> 言語指示の理解 物語文を読む 詩を読む 指示文を読む 作文指導 漢字の使い方 | <ul style="list-style-type: none"> 演技指導 場の雰囲気理解 地方によって違う言葉 慣用句の理解 説明文の理解 新聞・ニュースを読む |
| | コミュニケーション能力 | <ul style="list-style-type: none"> 音声模倣 指差し 身振りの理解 簡単な言葉掛けの理解 | <ul style="list-style-type: none"> 要求手段の使用 二つの言語指示 コミュニケーションに有用な言葉 挨拶、肯定、否定 自分の名前、身近な人の名前の理解 | <ul style="list-style-type: none"> 発声、自己紹介、応答 身振りを使った表現 場に応じた話し方（挨拶） 自分の意思を伝える 質問の理解・会話を聞く | <ul style="list-style-type: none"> 敬語の意味と種類 場に応じた会話の仕方 自分の意思を分かりやすく伝える 朝の会・帰りの会（挨拶） 休み時間 | | |
| | 生活する力 （身辺自立） | <ul style="list-style-type: none"> 着替え・衣服の整理 排泄（マナー） 清掃・荷物の整理 清潔 生活と約束 | <ul style="list-style-type: none"> 衣服の整理整頓 1日の生活（日課・予定） 集団行動（自分の役割り） 買い物 身だしなみ・座り方 | <ul style="list-style-type: none"> 衣服の整理（たたみ方しまい方） 清掃（用具の使い方） 買い物（自動販売機・決まった額） 洗濯（洗濯機・手洗い） 身だしなみ（季節に合った） | <ul style="list-style-type: none"> 給食・掃除・着替え 持ち物の整理 下校 リサイクル作業 組立・木工・縫工・畑作業 | | |
| | 運動技能 （自立活動） | <ul style="list-style-type: none"> 集団行動 かけっこ リレー ボール運動 水泳・スキー サーキット・動物あるき | <ul style="list-style-type: none"> ゲーム 縄跳び ラジオ体操 短距離走 器械運動 ボールを使った簡単なゲーム | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な動きを組み合わせる運動 用具を操作する運動 柔軟体操・ペアストレッチ ろく木、雲梯ぶら下がり 腕立て・上体起こし・手押し車 ランニング・ダンス・球技等 | <ul style="list-style-type: none"> 整列 体ほぐし運動 力強い運動 体カテスト 動きを持続する能力を高める運動 体の柔らかさを高める運動 | | |

3. スタートカリキュラムの実際

日課と学習内容(4月～5月) * 1年かけて学校を知ることが基本のため、1年生は準備期です

| | 時期 | 日課 | 主な学習内容 | | 時期 | 日課 | 主な学習内容 |
|-----|----------------------|-------|--|-----|------------------------|-------|---|
| 入学式 | 1日目 | 2時間授業 | 学活：入学式に出よう 「がっこうのせいかつ」～トイレ・水飲み場、 挨拶・返事の仕方、座り方、列で歩く 靴箱の使い方 | 始動期 | 3週目～ 4月末 (1週間程度) | 4時間授業 | 国語：学習準備の仕方、学習の仕方、読み聞かせ 算数：学習準備の仕方、学習の仕方、かず 日常生活の指導：着替え 生活単元：生活のきまり 生活：「がっこうたんけん」 「がっこうの人となかよくなるう」 音楽：「かもつれっしゃ」 「さんぼ」「校歌」 図工：「こいのぼりをつくろう」 体育：並び方、歩き方 道徳：「しょうがっこうのなかま」 自立：「どうぶつあるき」「サーキット」 学活：学校のきまり、休み時間の過ごし方、 体育館の使い方 行事：各種検診 |
| | 1週目～ 2週目 (2週間) | 3時間授業 | 国語：学習準備の仕方、読み聞かせ 「なまえをかこう」 「おはなしたくさんききたいな」 日常生活の指導：着替え 生活単元：生活のきまり 生活：「がっこうのせいかつ」～トイレ・水飲み場、 ロッカーの使い方、挨拶・返事の仕方 お便りのしまい方、靴箱の使い方 学習用具の出し入れ 「新入生を迎える会」 自己紹介・みんなとあそぼう 音楽：「手遊びをしよう」(リトミック) 「さんぼ」「校歌」 図工：「貼り絵」・クレヨンを使って 体育：並び方 道徳：「がっきゅうのなかま」 自立：集団遊び「うごきづくり」 学活：学校のきまり、休み時間の過ごし方、 体育館の使い方 「新入生を迎える会に向けて」 行事：「二計測」「視力・聴力検査」 各種検診 | | 準備期 | 5月～ | 日課表に基 づいた学習 |
| 入学期 | | | | | | | |

主体的な学びを育む

人とのつながり

アイヌ文化交流
(地域の人と)



交通安全教室



安心

和太鼓交流



読み聞かせ(司書)

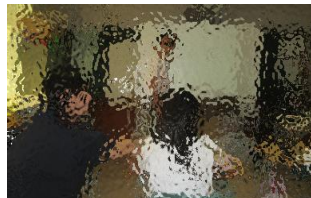


支援体制

合同学習・グループ学習



児童ヘルパーのサポート



安心や楽しさが生まれる
環境づくりと支援体制

交流(異学年・他校)

小中合同英語(ハロウィン・クリスマス)



全校のつどい(小中合同)



成長

中学生が先生(職場体験)



他校との交流



学習環境

個に応じた教材



活動や体験を通して、自信や意欲が
生まれる学びの場

自ら学ぶ

校外学習(フィールドワーク等)



自立

確かな生活力(会食指導)



協力・責任感

奉仕活動(小中合同)



掃除(雑巾がけの練習等)



自分で判断し、行動できるように
自立に向かう活動場面を設定

小学部の新学期について

小学校では明るく楽しい学校生活を送るためにも、次のことについてご協力・ご理解をお願いします。

(1) 服装について

登校後、各自が用意したジャージ等に着替え、下校時には登校時に着てきた服に着替え下校します。清潔で活動しやすい服装をお願いします。校内で着る服装については、特に決まりはありませんが、体を動かす学習を多く設定していますので、運動に適した服装が望ましいです。(着替えは運動時の安全を考え、体育のときはフードのないものをご用意ください。ヘアピンも同様に飾りのない物をお願いします。)

※お子さんが自分で脱着したり、畳んだりすることができるようになることが目標です。ピタッとした服やサイズの合わない服、縀柄で前後が分からないものなどは避けるようにしてください。

(2) 持ち物について (毎日持ってくるもの)

・筆入れ (鉛筆・消しゴムなど) ・ハンカチ、ちり紙 ・水筒 (水、お茶、スポーツドリンク)

・給食用エプロン^{※1}、帽子 (三角巾)、おしぼりとおしぼりケース、箸^{※2}と箸箱、給食用マスク ←これらを入れる給食袋

※1 エプロンのひも、ボタン、マジックテープなどはお子さんの実態に合ったものが望ましいです (できるだけ自分で身につけられるものをお願いします)。

※2 給食には、大きめのスプーンのみが付いてきます。そのため、スプーン以外の用具については、ご準備いただく必要があります。

箸 (補助具付きの箸も可) をご準備いただくこととしていますが、お子さんの実態に応じて、小さめのスプーン、フォークをお持ちいただいてもかまいません (食器の使い方についても段階的に練習を進めていくこととなりますので、不明な点は、後のページのお問い合わせ先、または学級担任にご相談ください)。

・連絡ノートとクリアケース (学校で準備します)

(3) 準備するもの (学校に置いておくもの)

＜週の始めに持ってきて、週末に持ち帰るもの＞

・着替え (季節に応じた上下の服：体育のときはフード付き以外) ・手ふきタオル ・体育帽子

・着替えの服を包む風呂敷もしくは袋 (巾着タイプ：やぶれにくい布製のものなど) ^{※3}

・着替え、手拭きタオル、体育帽子等を入れて持ち帰る時の布袋やバッグ

※3 風呂敷または袋は、毎日の着替えで使用し、それぞれの形状に応じた扱い方 (結び方：かた結び⇒蝶結び／ひもの扱い等) の練習を繰り返して行きます。

それぞれの形状の利点や欠点等がありますので、お子さんの実態や練習してほしい内容などを踏まえてご準備ください。また、ご準備していただくに当たって、サイズが小さいと扱いにくくなってしまいうため、着替えが入るくらいのも (少し余裕があるもの) のご準備をお願いします。

<学校に置いておき、夏・冬休み前に持ち帰るもの>

- ・予備の着替え一式（上下の服、アンダーシャツ、パンツ、靴下等） ・上靴
- ・コップ ・図工用スモック ・その他、学級担任と確認したもの

<学校で教育活動費から一括購入する物>

- ・道具箱 ・クーピーペンシル ・クレヨン ・工作板 ・のり（スティック） ・体育帽子 ・なわとび

※はさみは一括購入しませんので、各家庭で用意してください（使いやすいもの）。

※教科で使う材料などの費用は、学校で一括して集める教育活動費の中から支出します。

<その他>

※夏の体育の学習として、水泳、水遊びに取り組んでいます。実施時期が近づきましたら、水着等の準備物についてご連絡をさせていただきます。

※冬の体育の学習として、グラウンドで歩くスキーに取り組んでいます。その際に使用するスキー板やポール、靴は学校にあるものを使います。その他のスキーウエアや手袋などの防寒具については、ご家庭でご準備いただくこととなりますので、実施時期が近づきましたら、準備物についてご連絡をさせていただきます。

※その他、畑作業に使用する長靴など、必要に応じてその都度ご連絡をさせていただきますので、ご準備のご協力をお願いします。

※学校には必要のないものは持ってこないことになっています。

→学校生活のきまりは、中学校のきまりに準じています（詳細は、年度初めに文書が配付されます）。

(4) 記名について

持ち物には、必ず名前をつけて下さい（特に下着や靴下もお願いします）。

(5) 登校時刻について

8時15分～25分が登校時間になります。8時25分からは、授業がスタートしますので、時間を守って登校するようにしてください。

※児童生徒玄関は8時15分まで施錠されています。

(6) 下校について

下校時刻は、毎週配布される時間割をご確認ください。お迎えは、遅れないようにお願いします。

また下校方法（お迎えやガイドヘルパーさんの利用、バスの利用など）について事前に学級担任と確認するとともに、変更がある場合は、連絡ノート等で確実にお知らせください。

なお、ガイドヘルパーさん等へは、保護者の方から下校時刻をお知らせください。

(7) 欠席、遅刻、早退等について

必ず事前に連絡されるようにお願いします。（電話、連絡ノート、口頭など）

※電話連絡は、7時30分から8時までをお願いします。8時～8時10分頃は職員打ち合わせですので、この時間は避けて下さい。

(8) スクールバスについて

・登校のスクールバスは、学校生活に慣れてから利用することが望ましいです。

⇒5月から利用できます。

・スクールバス利用開始までのお迎えは保護者かガイドヘルパーさんをお願いします。

・お子さんの安全確保のため、利用するためには、基本的にはバス停までの保護者の送迎が必要です。

・お子さんが欠席（朝のうちに）、早退等でバスを利用しない場合はご家庭の方からバス会社へ必ず連絡してください。

(9) 給食のカットについて

運動会や遠足等、給食を食べない行事では、延期に備えての予備日も給食はありません。予備日はお弁当の用意をお願いします。

※お弁当の他、水筒も用意してください。中身は水、お茶、スポーツドリンクのいずれかをお願いします。

※お弁当の代わりに、学級で調理学習を行ったり、外食指導で近くのお店に行ったりすることもあります。いずれの場合も学級通信などで事前に連絡をします。

(10) 薬について

学校に内服薬や外用薬（点眼剤・軟膏剤・うがい薬など）を持たせる場合は、投薬連絡票（後日配付）でその旨をお知らせください。

薬については学校では用意しておりません。内服薬は自分で飲むことができるものを持たせるようにしてください。

（PTA総会でご説明いたします）。

参考資料



左から 帽子（三角巾） 給食用エプロン おしぼりとおしぼりケース 箸と箸箱 これらを入れる給食袋 給食用マスク（布マスクまたは使い捨てマスク）

※給食用エプロンについては、スモック〈かっぽうぎ〉タイプのももあり、着やすく、汚れを防ぎやすいようです。参考にいただければと思います。

※おしぼりは、濡らしてしぼる練習を行いますので、乾いたままおしぼりケースに入れてください。

※おしぼりケースはお子さんが開けやすいもの、給食袋は布地（口）がしっかりしているものが出し入れしやすいです。準備される際に、お子さんが自分で出できるか確認していただくようお願いします。

※いずれも、毎日使用するものとなりますので、複数セット用意し、洗濯等をして交互に持たせると衛生的でよいと思います。

【帽子（三角巾）の例】



【補助具付きの箸の例】



※帽子（三角巾）は、様々なタイプがあります。後ろで結ぶものは難しい場合がありますので、お子さんの実態に応じてご準備ください。

※補助具付きの箸も様々なタイプがあります。

【着替え用の風呂敷をご準備される場合の例】



※対角線上にアップリケなどを付けて、結ぶ際の目印にしているご家庭もあります。

※着替えが包めるような風呂敷をご準備ください（大きくて柔らかいものが扱いやすいです）。

【着替え用の袋をご準備される場合の例】



※入れた着替えが袋から飛び出さないよう、入れ口をひもでしぼることができる、巾着タイプのものをご準備ください。

小学部 教育課程等

教育課程は、小学校学習指導要領、特別支援学校小学部学習指導要領、及び管内の教育課程を参考にしながら、児童の発達段階の実態を踏まえて編成されています。また、具体的な学習内容については、児童の生活年齢や学習上のねらい、個々の特性や興味・関心、そして個別の指導計画等を考慮しながら計画されています。学習環境についても、学級（グループ）単位で分かれて行ったり、合同で行ったりするなど、教科等の特性や学習のねらいなどを考慮しながら整備し、より効果的に展開することができるよう努めています。

（１）各教科の学習

各教科のねらいや特性を大切に、個々の児童の実態にそった題材や課題の設定を行って、広い視点で学習を行っています。

（２）総合的な学習

3年生以上の児童に、校外での活動や外部から講師を招くなど実際の体験や社会の体験を豊かにすることを大切にしながら実施しています。

（３）領域別の指導

①自立活動

○時間を設けての指導（日課表に位置付け）

- ・「うごきづくり」（小学校全体学習）
- ・「チャレンジタイム」（学級又は個別の学習）

○全教育活動の中での指導

＊個別の指導計画

- ・中心課題と各領域の課題を保護者と共通理解を図りながら計画を作成し、実行しています。

②特別活動

クラブ活動 個々の希望に沿って、5・6年生が行っています。今年度は2つのクラブを予定しています。

委員会活動 5・6年生と中学生が行います。代表・放送・体育の3つの委員会と、児童・生徒会があります。

③交流教育

「開かれた学校づくり」の視点で、家庭や地域の人たちの理解・協力を得ることをねらって取組を進めています。また、居住地の学校と交流し、居住地域での理解を進め、経験を広めるための活動も推進しています。

<行事を通しての交流>

1. 北栄小との交流 北栄小の通常学級、特別支援学級との交流をします。
2. 東小交流 東小を訪ね、発表やゲームで交流を深めます。

- | | |
|-----------------|---|
| 3. 駒里小交流 | 勇舞すこやか公園で一緒に活動をして交流を深めます。 |
| 4. 支笏湖小交流 | 6年生が修学旅行で支笏湖小を訪問して交流をします。 |
| 5. 和太鼓交流 | 千歳市在住の和太鼓のチームに太鼓の叩き方を教えてもらい、相互発表で交流を深めます。 |
| 6. 学芸発表会 | 関係機関の多くの方々に学習の成果をご参観いただきます。 |
| 7. 千歳高校吹奏楽部との交流 | 千歳高校吹奏楽部の演奏を鑑賞するなど、相互発表を含めた交流をします。 |

<生活基盤充実に向けた居住区校との交流>

- ・居住地校交流 各児童が住んでいる地域の小中学校との交流をします。

<中学生との交流>

- ・登下校や学校生活、児童生徒会、行事等での交流など、縦割りの活動などを実施します。

(4) 合同学習・グループ学習について

体育、うごきづくり、音楽では、小学校全員による合同学習及びグループ学習を行うことがあります。児童の実態を把握し、学習のねらいに合わせてグループ編成を検討し、合同で行う場面とグループで行う場面の設定を工夫しながら、学習を展開していきます

(5) その他

- ・学年別の学習 学級編成上、同じ学年でもクラスが分かれることがありますが、行事によっては学年ごとに活動する機会もあります。修学旅行や地域防災交流学習等の事前学習で、同じ学年の児童と一緒に学習を行なっています。
- ・体験学習 … 学校選択等の理由により児童の在籍校や保護者の意向を受け、本校の受け入れ状況を考慮しながら、回数、時間を設定して行うことがあります。また、地域の通常学級への体験学習を行うことができる場合もあります。中学進学の際には、希望により保護者の方の見学も実施しています。
- ・進路情報 … 進路・進学についての学習会を実施したり、PTAの各種取組等で学びを深めたりしながら、保護者の皆様との情報共有を進めていきます。進路・進学についての学習会は、7月の参観日の際に、中学校の進学のための説明会は、9月に実施することが予定されています。ぜひ、ご参加ください。
- ・教育相談 … お子さんを支援していく上での悩みや日常的な関わり方等についての相談を行うことができます。関係機関やスクールカウンセラー等と連携した取組も行うことができます。また、通常学級の教師や本校、他校の保護者の相談に応じ、見学や体験入学なども随時行っています。

(6) 教科書について

新1年生につきましては、通常学級で使用する文部科学省検定済教科書を配布します。この教科書については6年間使用する場合がありますので、進級後も大切に保管してください（基本的には、学級で保管し、持ち上がることになります）。

また2年生以上の学年には、学校教育法附則9条に定める教科書（検定教科書以外の本で絵本などを含む）を文科省から配布されています（こちら、基本的には、学級で保管し、持ち上がることになります）。お子さんの実態等を考慮したものが配布されますが、学習状況と必ずしも一致したものとならない場合があります。日々の授業においては、学級担任や授業担当者が準備する自作教材や学校の教材教具を用いながら効果的に学習を進めることができるように工夫しておりますので、ご理解いただければと思います。

また、万が一、学校以外の家庭等で学習をする際の参考図書として、該当学年で使用している検定教科書を手元に欲しいという場合は、上記の理由により、実費にて購入していただく形になりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(7) 連絡ノートについて

小学校の学級担任には、基本的に空き時間というものはありません。各学級担任は、指導と並行しながら短時間でお子さんのその日の様子や連絡事項等をノートに書いているのが実情です。その日のお子さんの様子を少しでも記してお知らせしたいところなのですが、その日の状況や活動内容によっては十分に記入することが難しい場合がありますので、ご理解いただければと思います。なお、緊急性、必要性が高い場合は、内容によっては電話等の方法で確実にお伝えするようにさせていただきます。また、ご家庭からの質問や確認したいことなどがありましたら、電話または連絡ノートにて、遠慮なくお知らせください。

なお、連絡ノートをご覧になりましたら確認のサインをお願いします。

(8) より良い指導、お子さんの成長のために

北進小学校で教育活動にあたる私たちが日頃心がけ、また保護者の皆様とも共通理解の上で進めていきたいことがあります（以下4点）。

清潔・衛生

学校では活動後にいつも手洗いをしておりますが、今日的な状況からご家庭でも手洗いの徹底を習慣化できるようにお願いいたします。

疾病をもっているお子さんもいて、日頃から感染症等に注意しています。また、同じ服を着続けたり、爪が伸びていても気にしないなど、自分から訴えられなかったり、執着があるまたは無頓着だったりすることがあります。衛生面については、学校でも気を付けて対応していきますが、各家庭においてもご配慮をいただければと思います。

障がいの特性を理解する

なかなかできないこと、どうしてもできないことがそれぞれあるのが、障がいです。厳しく怒っても、できるようにはなりません。放っておいては、見て覚えるということもできません。また、やりたいことだけさせておくと、「許されるのだ」と思い、後で直そうとしても思うようには受け入れなくなることがあります。どういう手立てが合っているのか、お子さんの個性や障がいの特性について、一緒に理解を深めていきたいと考えています。

将来の姿・身に付けておく力

将来、お子さんに、どこで、どんな生活をしてほしいでしょうか？そのために、どのような学校に進学するのがよいでしょうか？ぜひ、早いうちから、進路先の様々な情報を集めていただきたいと思います。そして、将来の生活をイメージしながら、逆算して、今の生活や学習を考えていくことが大切です。焦る必要はありません。お子さんが将来の生活に向けて必要なことをじっくりと着実に身に付け、充実した日々を送ることができるよう支援することができればと思います。北進中学校では、進路に向けて、高等支援学校の活動を念頭においた教科学習を行っています。大半の児童が北進中学校に進学するため、北進小学校でも中学校の指導を考慮し、少ない支援で、自立的な取組が行えるよう、成長に見合った段階的な指導を行っています。

じっくりと着実に、そして、お子さんに状況に合わせて段階的に、学校と家庭で連携しながら進めていくことができればと思います。

今必要な指導

以上のことを踏まえ、現在のお子さんに必要な指導・支援を、具体的に組み立てていきます。学級担任だけではなく、保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。4月下旬に話し合いを持つ「個別の指導計画」には、今年度の指導方針を盛り込んでいきます。人的、物理的な制約の中で、できることにも限りはありますが、お子さんにとってより効果的な指導・支援ができるよう、そして、楽しい学校生活を送ることができるよう努めていきます。必要な情報を共有し、学校と家庭で連携しながら指導・支援を進めていきたいと思っていますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

入学前にこんな準備を・・・

① お返事と、あいさつ 必要なことを話す

- ・呼ばれたら「はい」と返事する。
- ・あいさつをする。「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」
- ・「わからない」「できない」と言える。
- ・困ったことがあったら、自分から大人に話す。合図をする。

② 身支度

- ・立っただまま、くつを脱ぐ。立っただまま、くつをはく。
- ・一人でスキーウェアが着られる。
- ・カッパの着脱は、立っただまま、一人で行える。できない時は「手伝ってください。」と言う。
- ・自分で5本指の手袋をはける。冬までの間に練習をしましょう。



③ トイレの正しい使い方

- ・順番を守り、ドアを閉めて用便ができる。
- ・手を洗い、ハンカチでふく（ハンカチ、ちり紙を毎日持たせてください）。
- ・和式も洋式も、誰かと一緒にあれば使えるように（学校には両方あります）。
- ・使った後に必ず水を流す（学校は自動で流れません）。

④ バスでのマナーを守る（校外学習などでスクールバスを使用します）

- ・座って乗って居られる。
- ・バスの中では立ち歩かず、静かに乗れる。

⑤ 早寝・早起き・朝ごはん

- ・毎日、朝ごはんを食べるようにしましょう。（授業に集中できるように）
（お子さんによっては、なかなかご飯が食べられない場合があります。そのような時はご相談ください。）

⑥ 睡眠時間を決める。

- ・8時から9時までには寝る（ご家庭によっては多少前後すると思いますが目安として）。
（子どもは10時間の睡眠が必要です。体調管理の基本となります。）
- ・7時には起きる。
（8時までには登校するには、遅くとも7時の起床を習慣にしましょう。）

⑦ 横断歩道を渡る

- ・大人の指示を聞いて、一緒に横断歩道を渡ることができる。
- ・冬道を歩くことができる。
- ・除雪車やトラックなど大きな乗り物があっても怖がらずに歩道を歩くことができる。

ご相談・お問い合わせ・連絡先 TEL23-3439 FAX23-9780

千歳市立北進小中学校 教頭 鈴木敦司、教務部 益山友和

～ 大切にしてほしいこと ～



①いつも子どもの ○を見て話す。

子どもの表情から見えることは、たくさんあります。また、子どもは、大人の話し方や表情を見て学びます。笑顔で。

②子どもの ○○○を受け止める。

子どもなりの理由があるはず。まずは、聞いてあげてください。心も落ちついてきます。

③いっしょに ○○する。
「○○る→学ぶ」

子どもは、家族と体験したことは、忘れないものです。楽しさや喜び、時には一人ではできない課題もいっしょにやることで、自信につながります。子どもと一緒にできるのも小・中学生のうち。

④「○○る」より「○○る」

認められることで、自己肯定感が得られます。失敗体験の積み重ねは、自己否定につながります。褒めてのばしましょう。

⑤子育ては、○○○で！

多くの大人の目で見守ってあげることが大切です。子育てに困ったら、一人で抱え込まずいつでも相談を。

ご相談・お問い合わせ・連絡先

千歳市立 北進小中学校 教頭 鈴木 教務部 益山・池田 TEL 23-3439 FAX 23-9780